

○日時：令和7年1月20日（月）
13：25～14：10
○場所：本庁舎4階 記者会見室

北九州空港を拠点とする電動航空機による貨物輸送 に向けた共同検証に関する連携協定締結式

次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市 挨拶
(市長 武内 和久)
3. 共同検証の取組説明及び挨拶
(双日 常務執行役員 はしもと まさかず 橋本 政和)
(BETA 最高収益責任者 ショーン ホール)
(ヤマトHD 代表取締役副社長 くりす としぞう 栗栖 利蔵)
4. 機体の愛称募集説明
(市長 武内 和久)
5. 連携協定締結(署名)
6. 質疑応答
7. 写真撮影

配布資料

- ・次第
- ・配席表
- ・取組内容説明資料（双日・BETA・ヤマトHD）
- ・機体の愛称募集について 説明資料
- ・令和7年1月20日付 プレスリリース資料

【問合わせ】

北九州市 港湾空港局 空港企画課
課長：一田、係長：馬場園 電話：093 - 582-2308



北九州空港を拠点とする電動航空機による貨物輸送に向けた共同検証に関する連携協定締結式



2025年1月20日

双日株式会社
BETA Technologies Inc.
ヤマトホールディングス株式会社
北九州市



日本初!

北九州空港を拠点とする 電動航空機による貨物輸送に向けた 共同検証に関する連携協定締結



共同検証の概要と双日の検討領域

2025年 1月20日

Copyright © Sojitz Corporation 2025

取り巻く課題と共同検証の概要

取り巻く課題	脱炭素社会への対応	地方の過疎化
検証目的・概要	より効率的且つ持続可能な国内物流網の構築を見据え、電動航空機導入の効果検証や実装に向けた課題抽出を行う	
検証時期	2025年1月20日より最長2年間	
各社役割	双日	<ul style="list-style-type: none">共同検証の取り纏め及び推進試験飛行に必要な許認可取得支援日本国内にBETA機を導入するための体制構築
	ヤマトホールディングス	<ul style="list-style-type: none">貨物輸送に関するオペレーションのアドバイス貨物輸送におけるeCTOLの有用性検証
	BETA Technologies	<ul style="list-style-type: none">機体及び充電インフラの運用に伴う技術的アドバイス試験飛行における許認可取得、機体提供、運航
	北九州市	<ul style="list-style-type: none">北九州空港を拠点とした各種インフラ整備支援関係官庁との調整支援

具体的な検証内容



貨物オペレーション検証

空港内の貨物動線の検証、搭載量の確認 等



インフラ検証

必要な充電設備や空港設備の確認 等



試験飛行

機体性能・通信環境の分析、必要な許認可の確認 等



コスト検証

運航コストの算出や経済性の確認 等

試験飛行概要



双日の検討領域

双日グループは航空関連事業の拡大に取り組んでおり、
運航や整備、乗員訓練に関する機能も保有。

運航事業



整備事業



乗員訓練事業





※投影は英語の予定



A Sustainable
Future for
Aviation

Just simple enough to be revolutionary.



BETA Technologies Inc.のご紹介

BETAは、全電動かつゼロカーボンの航空貨物、物流、医療輸送、および旅客輸送を実現するための航空機およびインフラシステムを開発している電動航空機メーカーです。

- 本社 : 米国バーモント州バーリントン
- 設立 : 2017年
- 従業員数 : 750名超
- 株式公開 : 非上場
- 特許 : 350件超

BETA

9

BETAのアプローチ

BETAは、サステナブルなソリューションを提供しています。どんな天候にも対応可能な、より効率的で全電動の貨物、物流、旅客、医療輸送を実現するシステムを開発しています。



電動航空機

分散推進システムを備えた運用時CO₂排出ゼロの航空機

BETA



充電設備

多用途で利用可能な充電設備



訓練プログラム

パイロット・整備士向け訓練カリキュラムやシミュレーター



フレキシブルなプラットフォーム

ALIA CTOL



ALIA VTOL



安全性 |

トラブルに備えた冗長性と多くの実地試験実績

シンプル |

可動式モーターやプロペラを使用しない空冷システム

実用性 |

シンプルで高い操作性

静音 |

人口密集地域で実用可能

飛行試験のマイルストーン（2024年時点）

- 5年間以上のフルスケール航空機の飛行実績
- 世界初の有人遷移飛行を実施
- BETA量産工場から出荷されたeCTOLの初飛行（バーリントン）
- 電動航空機として初めて、米国で最も混雑した空域（ハドソン回廊を含む）を継続的に飛行
- 100%の稼働率で4回の軍事演習を完了。負傷者の避難シミュレーションと物資の再配置を実施
- 米国・カナダの90以上の空港へ飛行
- 当局承認を得て、eVTOLの初期養成乗員のデュアルシート訓練を開始
- あらゆる天候への対応能力を確認する初期IMC(計器気象状態)テストを開始
- 電動航空機として初めて、Garmin G3000 PRIME アビオニクスを導入
フライ・バイ・ワイヤシステムの開発のために、更新された制御則のアルゴリズムで飛行試験を実施

実用的な充電ソリューション



多様な用途：CCSを利用して、BETAのALIA以外に航空機、トラック、車などすべてのEVをサポートするEV充電を提供

1時間以内で充電完了：航空機と充電システム間の通信により安全な急速充電を実現

50フィートの伸縮コード：地上ハンドリングを最小限に抑えることで、航空機の駐機方向や位置を柔軟に対応可能

追加のソリューション：緊急時や厳しい運用場所向けのモジュール式および移動式充電も用意



13

既存の充電ネットワーク

現在46カ所が稼働中、さらに23カ所が建設中。

BETAはこれらの充電設備を活用し、バーモント州からアーカンソー州、バーモント州からケンタッキー州、最近ではバーモント州からフロリダ州まで長距離飛行を実施し、機体性能を実証。また、バーモント州とニューヨーク州において、試験飛行用に日常的に充電設備を稼働中。

 稼働中  建設中  建設予定

最終組立施設



年間最大300機の
航空機を生産可能



部品生産・組立作業
ステーションを備えた
パルス・ライン製造方式



バーモント州で多くの
雇用を創出



化石燃料を使用しない
ゼロエミッション施設



15

パートナーシップ

BETAの多用途で利用可能な航空機設計は、4つの異なる分野でオペレーターをサポートしており、1,580億円以上の資金を調達済み。9社の顧客から550機以上の受注数があり、すべての顧客より保証金付きの確定注文を獲得しています。

出資者	amazon	EXIM	Fidelity	TPG RISE CLIMATE	QIA	sojitz New way. How value
医療	Health Human Services	United Therapeutics CORPORATION	METRO AVIATION	NEW ZEALAND AIR AMBULANCE SERVICE		
貨物	AIR NEW ZEALAND	Bristow	LCI	UPS		
旅客	AIR NEW ZEALAND	BLADE Urban Air Mobility	Helijet			
政府機関	U.S. AIR FORCE	U.S. ARMY	U.S. NAVY	Health Human Services		



16



電動航空機を活用した
持続可能な物流ネットワークの検討

 ヤマトホールディングス



北九州市さまとのパートナーシップ

北九州市さまと2023年7月に「物流連携協定」を締結



「北九州市からはじまる新しい運び方」をテーマに様々な取り組みを推進中

北九州市さまと連携した「新しい運び方」

■持続可能な物流ネットワークの構築

- ・ 貨物専用機（フレイター）の北九州空港への就航・拠点整備
- ・ 北九州空港に就航している旅客機の床下スペースの活用
- ・ 東京・九州フェリーの活用（新門司⇄横須賀）

■環境負荷の低いグリーン物流の構築

- ・ EVの積極的な導入
- ・ 「KitaQ Zero Carbon」の取り組みに協力（再配達削減）
- ・ Sustainable Shared Transport株式会社（共同輸配送）やヤマトエナジーマネジメント株式会社（再生電力提供）と連携した取り組みを検討



■地方創生に貢献

- ・ 離島を含む全国ネットワークの維持
- ・ 福岡県産品・九州産品の農水産品の流通拡大
- ・ 北九州の高度な物流ネットワークを生かした企業誘致



地方産品の流通拡大や住民の生活利便性向上に向けて

- ・ BETA社の電動飛行機は、日本での地方創生を実現するために重要な輸送モードとなりえる
- ・ 離島など地方の物流ネットワークと組み合わせ、時間距離を短縮

環境対応
CO₂削減へ

低コストな
航空輸送の実現
(航空燃料と比較)

過疎地・離島からの
時間距離の大幅短縮
(利便性向上)

地方創生

行政・企業連携
による産業の活性化
(企業誘致)

過疎地・離島など
持続的な物流
ネットワークの構築

同じ目的を有する行政や業種を越えた企業さまとの連携で実現していく



日本初！北九州空港を拠点とする連携協定

電動航空機による貨物輸送の検証

～ 機体の愛称募集 ～

テーマ「わくわくするような未来の空港づくり」



「未来に向かって夢を乗せて羽ばたく
機体にふさわしい名前」を募集。

◆最優秀作品の応募者には、
機体のお披露目会への招待と
素敵な景品プレゼント